

記事内容

- ☆近藤会長2022年頭挨拶
- ☆青年委員会「第33回定期総会」/女性委員会「第33回定期総会」
- ☆JILAFトルコ・パキスタンチームとの意見交換
- ☆組合役員教育プログラム2022年度開講説明会/ヤオコー労働組合からの寄贈式
- ☆組合役員教育プログラム2022年度年間スケジュール
- ☆連合「愛のキャンパ」/2022年施行予定の選挙
- ☆1月の行動日程/ワーカーズコープお知らせ
- ☆あけぼのビル



©KAKINUMA

～近藤会長 年頭挨拶～ 安心社会へ 新たなチャレンジ

～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～



近藤 嘉会長

明けましておめでとうございます。連合埼玉組合員とご家族の皆様には、よいお年を迎えられたことと心よりお慶びを申し上げます。また、日頃の連合埼玉の諸活動に対しましてご理解とご協力に感謝申し上げます。

国内では、昨年10月からの「緊急事態宣言」解除以降、感染者数は落ち着きを見せているものの、海外での新たな変異株である「オミクロン株」の発生に伴い、国内でも感染が確認されるなど、新たな段階に入っています。私たち連合埼玉は、三度目のワクチン接種を含め、今年も基本的な感染防止策を徹底しながらの活動を心掛けていきたいと思っています。

私たちは、この二年間、大切にしてきた対面の活動に制約を受けながら、活動を進めてきました。そうした状況だからこそ、組合員との日常のコミュニケーションの大切さ、フェイス・トゥ・フェイスの重要性をこれまで以上に感じた期間でもありました。今年もしばらくの間、コロナ禍において感染対策を講じながら社会経済の立て直しを同時にはかかっていかなければなりません。この二年間の経験を生かしながらリアルとオンラインに関わらず、改めて時間を掛けてでも組織活動の強化・充実をはかっていくこと、活動の原点に立ち返ることが重要と考えます。

労働組合に対する信頼は、職場での日常活動で積み重ねられた1つの信頼の上に成り立っており、身近な役員の実行によって構築されるものです。また、現場で働いている組合員からの情報や現場の最前線で活動をしている

組合役員が実際に現場を見て肌で感じ取った情報は、労働組合しか知りえない情報となり、それは業績や経済の立て直しをはかるべき、会社にとっても貴重なものとなるはずで。

その様に得られた貴重な情報を共有しながら、職場にあっても、地域にあっても、すべての働く仲間にとって「必ずそばにいる存在」として「誰一人取り残さない」ことを強く意識し、「働くことを軸とする安心社会 ～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向けて全力を尽くしたいと思います。

昨年は、各種中間選挙ならびに第49回衆議院議員選挙における、連合推薦全候補の当選にむけ、精力的に取り組んでいただきました。全ての皆様のご尽力に対し、改めまして敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げます。

今年、1月23日投開票の深谷市長選挙を皮切りに、昨年と同様に多くの中間地方選挙が予定され、夏には第26回参議院議員選挙がおこなわれます。与野党が互いに政策で切磋琢磨する政治体制の確立にむけ、改めて政権交代可能な二大政党的体制をめざしていきたいと思っています。各構成組織・加盟組合・地域協議会と更に連携をはかりながら、連合埼玉として総力を結集し、組織一丸となって推薦する全候補者の当選にむけ、全力を尽くしたいと思います。

引き続きのご理解とご協力を何卒宜しくお願い致します。

本年が、皆さんにとって良き一年になるようご祈念致します。

様々な産業を担う青年層の連帯の輪を広げよう

青年委員会「第33回定期総会」

11月26日(金)、あけぼのビルにおいて青年委員会「第33回定期総会」を開催しました。

冒頭の挨拶において岡委員長は、「昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、春闘街宣やWEBを活用した推薦議員との意見交換会、連合群馬・連合栃木との交流会、LEGOブロックを用いてSDGsを学んだユースラリーなど、一人ひとりが気づき・楽しみながら学びを深め、連帯の輪を広げることができた」とその成果を語りました。

平尾事務局長から、連合運動における青年層への期待を込めたメッセージをいただいたのち、2021年度活動報告・決算報告、2022年度活動方針・予算・役員体制が可決・承認されました。

本総会をもって多くの幹事が交代となり、新たに就任した丹羽委員長は代表挨拶において、様々な産業に従事する者が集う連合運動の意義を込めて、出身組織の特色を織り込みながら幹事を紹介し、総会は終了しました。



挨拶する丹羽新委員長

■2022年度役員体制

役職	氏名	構成組織名
委員長	丹羽 宝宏	UAゼンセン埼玉県支部
副委員長	齋藤 恵洋	電機連合埼玉地協
事務局長	木村 祐一	JAM埼玉
幹事	會田 友樹	自動車連埼玉地協
	金木 優	J P 労組埼玉連協
	岩下竜太郎	情報労連埼玉県協
	中島 悠真	埼玉県電力総連
	桐山 正章	印刷労連 関東北部地方協議会
	秀嶋希智弘	J E C 連合埼玉地連
	南 悠太	全国ガス埼玉
	山ノ内堅介	関信国税
	野田 崇啓	政労連埼玉地連
	荒谷 誠	中央労金労組埼玉統括支部

■退任役員一覧

役職	氏名	構成組織名
委員長	岡 勇介	自動車連埼玉地協
副委員長	梶原 康智	印刷労連関東北部
幹事	佐藤 翼	J P 労組埼玉連協
	山本 聖	自治労埼玉県本部
	細谷 拓生	情報労連埼玉県協
	森田 敬士	埼玉県電力総連
	島田 泰孝	J E C 連合埼玉地連
	熊谷 雅樹	政労連埼玉地連

男女平等をはじめとする『真の多様性』を実現にむけて！

女性委員会「第33回定期総会」

11月29日(月)ときわ会館において、「第33回定期総会」を開催しました。

冒頭、伏見委員長から「今年の女性委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、できることは何か？運動を進めるにはどうすればいいか？を役員で議論しながら取り組んできた。男女平等参画については、職場や労働組合だけでなく政治の場でも女性参画を進めなければならない。次年度もしっかりと運動をすすめていきたい」と振り返りを込めた挨拶がありました。

総会では2021年度の活動報告、会計報告につづき、2022年度の活動方針、予算、役員体制が満場一致のもと可決・承認され、2022年度の役員体制が確認されました。新役員を代表して藤井委員長より、「メンバーは変わるが、引き続き、役員全員で知恵を出し合いながら活動を進めていくので、構成組織から引き続きのご協力をお願いします」と挨拶の後、アピールの採択にて総会が閉会しました。



挨拶する藤井新委員長

■2022年度役員体制

役職	氏名	構成組織名
委員長	藤井 久恵	政労連埼玉地連
副委員長	細川千恵子	ユニオン連合埼玉
事務局長	小峯 冴子	自動車連埼玉地協
事務局次長	石川智恵美	埼玉連
幹事	深津 滯	電機連合埼玉地協
	夏川由美子	UAゼンセン埼玉県支部
	金子かおり	自動車連埼玉地協
	牧 純子	JAM埼玉
	山本 悦子	J P 労組埼玉連協
	野村 久美	情報労連埼玉県協
	大村さやか	埼玉県電力総連
	春田 菊枝	運輸労連
	鈴木 初美	関信国税
	滝澤千恵美	埼玉教組
深江 彩那	労済労連	

■2021年度退任役員

役職	氏名	構成組織名
委員長	伏見美千代	UAゼンセン埼玉県支部
幹事	竹中 愛	自動車連埼玉地協
	日比谷富貴子	自治労埼玉県本部
	大塚小百合	情報労連埼玉県協
	細谷 紋子	埼玉県電力総連
	福田 有記	中央労金労組埼玉統括支部
	平林 彩奈	労済労連

トルコ・パキスタンの労働事情について意見交換

JILAF招へい事業に参加

連合埼玉は、国際労働財団(JILAF)からの要請で、11月18日(木)にトルコチーム(6名)、25日(木)にパキスタンチーム(9名)とオンライン(ZOOM)による情報交換会(各2.5時間)を実施しました。

JILAFでは、新型コロナウイルスの影響で海外から研修生の受入れができないため、招へい事業は2020年度から事前に収録した労働講義の動画を5日間で視聴するオンラインプログラムを実施しています。しかしながら、海外との時差の関係でオンラインでの情報・意見交換が実施しにくい状況でしたが、今回、時差の少ないトルコ・パキスタンチームに限って、オンラインプログラムのなかの一つのセッションで連合埼玉との情報交換が実現しました。

オンライン会議では、初めに連合埼玉の活動報告を30分、トルコ・パキスタンチームから各国の労働事情の報告を60分した後、意見交換を約60分というスケジュールでした。

意見交換でのトルコチームからの質問内容は

- ・既卒3年までの就活支援について、その必要性和労働法改正の内容は？
- ・非正規雇用の実態、および雇用の安定化のための組織化の取り組みは？
- ・大災害が発生した時の労働組合の取り組みは？

また、パキスタンチームからの質問内容は

- ・インフォーマルセクター(非正規雇用者)の状況と組織化の活動は？
- ・女性の比率と女性の具体的運動内容はどのような状況か？
- ・政策制度要求の具体的な取り組みは？

といった内容の質問があった。

連合埼玉からの質問は

- ・現状の最低賃金の水準とその最低賃金での生活はどのレベルか？

という質問をし、互いに意見交換をしました。

国際労働財団(JILAF)とは

国際労働財団(JILAF)は、「発展途上国の自由にして民主的な労働運動の発展と健全な社会・経済開発に寄与する」ことを目的とし、労働分野における



国際交流と協力を推進する組織として、1989年5月、連合によって設立されました。

JILAFの主な事業は、世界の発展途上国にある国々の労働組合指導者を対象に日本で研修を行う招へい事業、当該国のニーズに対応した現地セミナーや、インフォーマルセクターで働く人々の生活底上げをめざした現地支援事業、そして調査・広報事業、人材育成事業で構成されています。

タイ、ネパール、バングラデシュ、ラオス、ベトナム、スリランカ、カンボジアでおこなっているインフォーマルセクター労働者を対象とした「草の根支援事業」は、職業訓練や相互扶助組織づくりなどで着実に成果を収めてきており、人材インフラ整備を通じた国際協力として、国内外の関係者から注目を集めています。



意見交換をする連合埼玉事務局



トルコチームとのオンライン会議



パキスタンチームとのオンライン会議

連合埼玉に加盟しているなら「参加しないともったいない！」

組合役員教育プログラム「2022年度開講説明会」

12月8日(水)ときわ会館にて、組合役員研修プログラム「2022年度説明会」を開催し、各構成組織の教育担当者に加え、副会長・執行委員など総勢37名が参加しました。

金谷委員長による主催者代表挨拶と「組合役員教育プログラム」概要説明の後、コーディネーターに池上元規氏(j.union(株)専属講師)を迎え、「組合役員研修プログラムを受講して」と題したパネルディスカッションをおこない、昨年度プログラムを受講した浅見優斗氏(自動車総連)、石川法照氏(電機連合)、森田敬士氏(電力総連)の3名のパネラーから様々な体験談をお聞きしました。

浅見氏からは「実践できることはたくさんある。ぜひ受講して活動に役立てて欲しい」と参加への勧誘の言葉があり、石川氏からは「参加しないともったいない。本屋に売っていないテキストをGETして欲しい」と講座で学んだプレップ法(主張を伝えやすくする文章の型)を活用したアピールをいただきました。森田氏からは「他企業の人とのコミュニケーションにより学んだこと、手元に残っている資料を活かしながら、今後の活動に活かしていきたい」と今後の活動への意気込みが語られました。

説明会ではWEB開催でも成果が得られたことを確認し、2022年度への期待が一層高まりました。



金谷副会長



会場の様子



パネルディスカッション



平尾事務局長

災害へ備えることの重要性を再認識

UAゼンセン全ヤオコー労働組合から防災グッズが寄贈される



ダイナモLEDラジオライト

UAゼンセン加盟組合である全ヤオコー労働組合は昨年結成40周年を迎え、その記念品としてダイナモLEDラジオライトを全組合員に配布しました。

手回し充電式で電池不要のLDEライト、緊急を伝えるサイレン、AM/FMラジオを装備し、携帯電話の充電器として使うことができる入・出力用USBケーブルも付属しています。2021年は東日本大震災から10年が経過し、執行部は災害時に役立つ記念品を探していました。

記念品は全組合員にいき渡るよう、余裕をもって発注していました。そんな中、災害ボランティア救援隊という組織を持つ連合埼玉の活動が天野委員長の頭をよぎり、「そうだ、連合埼玉、にも寄贈して、活動に活かしてもらったらよいのでは」と寄贈の相談があり、12

月7日(火)にUAゼンセン埼玉県支部長である高井副会長と天野委員長が連合埼玉を訪れ、近藤会長に結成40周年記念品を寄贈しました。

災害はいつ何時起こるか分かりません。重要なのは日頃から危機管理意識を持ち、家族や職場における連絡体制を確立し、食料や防災グッズなども備えておくことです。今回の寄贈により、その重要性を再認識することができました。全ヤオコー労働組合の皆さん、ありがとうございました。



右から高井副会長、天野委員長、近藤会長

2022年度組合役員教育プログラム年間スケジュール

多数の受講者をお待ちしています！

2022年度の「組合役員教育プログラム」は下記のスケジュールで開催します。

実務講座の募集は終了しましたが、基礎講座は3月、スキルアップは5月に受講者の募集をおこないます。

開催方法については、実務講座・基礎講座はZOOMによるオンライン形式にて開催しますが、スキルアップについては新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めて判断します。

すべての講座は参加費無料となっていますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

★実務講座(WEB開催)

時間は全講座
13:30～16:30

開催日	講義内容
1月19日(水)	三六協定の実務(時間外労働と休日労働)
1月22日(土)	団体交渉・労使協議の進め方
1月26日(水)	労働組合が取るべき経営対策活動とは？
1月29日(土)	メンタルヘルスと職場での取り組み方
2月 2日(水)	キャリア開発(より良い働き方を考える)
2月 5日(土)	ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)

★基礎講座(WEB開催)

時間は全講座
13:00～18:00

開催日	講義内容
5月11日(水)	労働組合の意義と機能
	組合役員の立場と役割
5月14日(土)	組合役員のためのコミュニケーション力開発①(リスニング)
	会議の進め方①(職場討議・集会の進め方)
5月18日(水)	これだけは知っておきたい労働法(労働法初級)
	健全な労使関係と働き方のルール(労働法中級)
5月21日(土)	労働組合の社会的役割～労働運動の起源
	埼玉県の労働福祉運動の役割

★スキルアップ

開催方法・開催時間は
5月に決定し、ご案内します

開催日	講義内容
7月 9日(土)	プレゼンテーション(納得性を高める伝え方)
7月13日(水)	組合広報誌の作り方
7月16日(土)	組合役員のためのコミュニケーション力開発②(アサーション)
7月20日(水)	組合役員のためのコミュニケーション力開発③(コーチング)
7月27日(水)	会議の進め方②(ユニオンファシリテーション)
7月30日(土)	イベント企画の立て方とその運営

「連合・愛のキャンパ」地域助成・支援団体募集中!

「連合・愛のキャンパ」では、社会貢献活動に取り組むNGO・NPO団体の支援活動をおこなっています。連合組合員およびその家族、あるいは退職者が、積極的に運営に参加している団体がおこなう事業・プログラム、または地方連合会が日常的な活動で連携している団体がおこなう事業・プログラムを対象とし、助成金を寄贈しています。お知り合いのNGO・NPO団体がありましたら、ぜひ、ご紹介ください。

【応募期間】

2022年3月31日(木)まで

※応募には地方連合会の推薦が必要となりますので、まずは、連合埼玉・連帯活動局までお問い合わせください。
詳細は、連合ホームページをご覧ください
(<https://www.jtuc-rengo.or.jp>)

【対象となる社会貢献活動】

1. 大規模災害などの救援・支援活動
2. 戦争や紛争による難民救済などの活動
3. 人権救済活動
4. 地球環境保全活動
5. 障害のある人たちの活動
6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動
7. 医療・福祉関係などの活動
8. 地域コミュニティ活動(レクリエーション活動を除く)
9. 生活困窮者の自立支援活動

連合・愛のキャンパとは?

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けた社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPO団体などの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

2022年施行予定の各種選挙日程 ～投票に行こう!～

2022年度には、第26回参議院議員選挙を含めた各種選挙が、下記の日程で施行される予定になっています。

昨年度、埼玉県内で執行された各種選挙では、新型

コロナウイルス感染症の影響も加わり、依然として低投票率が続いています。

しっかりとした新型コロナウイルス感染症対策を講じ、ご家族を含めてみんなで投票に行こう!

選挙名	告示日	投開票日
深谷市長選挙	1月16日(日)	1月23日(日)
本庄市長選挙	1月23日(日)	1月30日(日)
本庄市議会議員選挙	1月23日(日)	1月30日(日)
神川町長選挙	1月25日(火)	1月30日(日)
川口市長選挙	1月30日(日)	2月 6日(日)
ときがわ町長選挙	2月 1日(火)	2月 6日(日)
ときがわ町議会議員選挙	2月 1日(火)	2月 6日(日)
戸田市長選挙	3月13日(日)	3月20日(日)
加須市長選挙	4月10日(日)	4月17日(日)
久喜市長選挙	4月10日(日)	4月17日(日)
久喜市議会議員選挙	4月10日(日)	4月17日(日)
秩父市議会議員選挙	4月17日(日)	4月24日(日)

*上記は補欠選挙を除く

選挙名	任期満了日
皆野町長選挙	4月22日(金)
春日部市議会議員選挙	4月30日(土)
上里町議会議員選挙	4月30日(土)
上里町長選挙	5月10日(火)
蓮田市長選挙	5月30日(月)
羽生市長選挙	6月10日(金)
小川町長選挙	6月12日(日)
鴻巣市長選挙	7月31日(日)
東松山市長選挙	8月 4日(木)
寄居町長選挙	8月27日(土)
滑川町長選挙	10月 3日(月)
草加市議会議員選挙	10月27日(木)
草加市長選挙	10月28日(金)
三郷市長選挙	11月13日(日)

*上記選挙については、任期満了日

現在予定される1月の日程表です

1月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 土		
2日 日	1月4日まで冬期休暇	
3日 月		
4日 火		
5日 水		
6日 木		
7日 金	①第2回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②2022新春のつどい(16:00～・ときわ会館)	
8日 土		
9日 日		
10日 月		電機連合埼玉地協「2022年新春旗開き」(ホテル木暮)
11日 火	第1回労働政策委員会(13:00～15:00・あけぼのビル)	
12日 水		
13日 木		秩父地域協議会「第2回幹事会」(18:00～・勤労者福祉センター)
14日 金	第1回組織委員会(13:00～・あけぼのビル)	熊谷・深谷・寄居地域協議会「第8回定期総会」(18:30～・熊谷市商工会館)
15日 土	災害ボランティア救援隊「隊員研修(初級)」(10:00～12:00・JAM埼玉友愛会館)	川越・西入間地域協議会「第9回定期総会」
16日 日		深谷市長選挙告示日
17日 月	第1回広報委員会(15:30～・あけぼのビル)	
18日 火	青年委員会「第2回幹事会」(18:00～・あけぼのビル)	
19日 水	①組合役員教育プログラム・実務講座⑩(13:30～・WEB開催) ②女性委員会「第1回幹事会」(18:30～・あけぼのビル)	
20日 木		
21日 金	埼玉シニア連合「第1回四役会・幹事会」(13:00～・14:15～・あけぼのビル)	
22日 土	組合役員教育プログラム・実務講座⑩(13:30～・WEB開催)	
23日 日		①北埼玉地域協議会「第28回定期総会」(8:30～・行田中央公民館) ②深谷市長選挙投票日 ③本庄市長選挙告示日 ④本庄市議会議員選挙告示日
24日 月	ネット21「第10回運営委員会」(15:00～・あけぼのビル)	川口・戸田・蕨地域協議会「第12回定期総会」(19:00～・川口フレンドシア)
25日 火	災害ボランティア救援隊「第1回運営委員会」(10:00～・あけぼのビル)	連合関東ブロック「2022女性会議」(13:30～・エテルナ高崎)
26日 水	①組合役員教育プログラム・実務講座⑩(13:30～・WEB開催) ②議員会議「第1回幹事会」(17:00～・WEB開催)	
27日 木		①第1回連帯活動担当者会議(13:30～・WEB開催) ②令和3年度四島交流オンラインセミナー(14:00～・Zoom)
28日 金	第1回フェアワーク推進委員会(13:30～・連合埼玉会議室)	
29日 土	組合役員教育プログラム・実務講座⑩(13:30～・WEB開催)	
30日 日	2022春季生活闘争パワーアップセミナー(10:00～16:30・あけぼのビル)	
31日 月	第1回連帯活動委員会(10:00～・あけぼのビル)	①本庄市長選挙投票日 ②本庄市議会議員選挙投票日 ③川口市長選挙告示日 本庄・児玉郡地域協議会「第18回定期総会」(18:30～・はにぼんプラザ)

2022年10月1日「労働者協同組合法」施行

2020年12月4日に、臨時国会において全会一致のもと制定されました「労働者協同組合法」が、2022年10月1日から施行されます。3人よれば届出だけで、誰もがワーカーズコープを設立できる時代の始まり。労働者協同組合法が活用され、力をあわせて仕事をおこし、こうありたいと願うくらしや地域の創造が広がることを推進します。



埼玉事業本部のHPは
こちらから



協同労働のガイドブック
実践編の紹介HP



労働者協同組合法に
ついてのご案内HP

〒336-0018

埼玉県さいたま市南区南本町2-5-15 M・Mオフィス201

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 センター事業団 埼玉事業本部

TEL:048-844-0085 FAX:048-844-0086 Mail:saitama@roukyou.gr.jp

一緒に働く仲間も募集中

検索





<新年を迎えて>

新年あけましておめでとうございます。2022年の新たな年がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の状況も、オミクロン株の出現など、第6波の備えが進んでいる中で、ワクチン接種や感染対策により、年末・年始の過ごし方も「新たな生活様式」へと切り替わっているように思います。

一方、昨年を振り返ると、1年の内9カ月間は、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の期間であり、10月に入って、やっと段階的に緩和されている状況です。感染対策を徹底しながらの活動や、オンラインを活用した取り組みが、「新たな日常」になりました。その中でも、東京オリ・パラ2020が開催され、日本人の活躍を画面越しで観戦し、メジャーリーグでは大谷翔平選手が満票でのMVP受賞など、閉塞感のある中で、明るい話題となりました。

このような状況もあってか、日本での2021年流行語大賞は「リアル二刀流/ショータイム」、2021年の漢字は「金」となりました。しかしながら、海外での流行語大賞の一つであるオックスフォード辞書で選ばれたWord of the yearは、「Vax」となりました。この言葉は、「A vaccine or vaccination (ワクチンまたはワクチン接種)」の短縮系として、ワクチン接種会場、接種済みなどの表記に使われた表現として選ばれています。日本国内も感染拡大の中で、私たちの日常に「ワクチン」ありましたが、日本では、これまでもインフルエンザのワクチンも含め、感染予防に見慣れた言葉として、流行語ではなかったのではないかと思います。

さて、私たちの労働運動も昨年の11月の大会以降、新たな年度が始まった中で、SDGsと労働組合について、少し触れたいと思います。

<SDGs(持続可能な開発目標)>

SDGs(エスディーゼーズ:Sustainable Development Goals持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを宣言し、そのために2030年までに持続可能な世界を実現するための「17のゴール・169のターゲット」からなる「持続可能な開発目標」になります。

そもそも、この取り組みのキッカケは、1972年に、マサチューセッツ工科大学のメドウズ氏らにより発表された「成長の限界」により、「地球資源を使いながら拡大してきた世界経済の成長は、このまま続くと100年以内に限界を迎える」という提言からでした。そのことを踏まえ、2000年9月の国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言において、ミレニアム開発目標MDGs(エムディーゼーズ:Millennium Development Goals)により、極度の貧困と飢餓の撲滅など、2015年ま

で達成すべき8つの目標を掲げ、達成期限となる2015年までに一定の成果をあげました。

その成果を踏まえながら、「途上国の開発中心、先進国は援助」という位置付けのMDGsから、開発側面だけでなく経済・社会・環境の3側面すべてに対応し、先進国にも共通の課題として設定され、2016年~2030年の持続可能な開発目標SDGsに引きつがれています。

<労働組合とSDGs>

連合埼玉では、昨年の第17回の定期大会の議案書において、運動方針に関連するSDGsとの関係を、始めて別紙で表記させて頂きました。

表記させて頂いた経緯としては、2年前に連合の結成30周年を迎え、連合本部の運動方針に対するSDGsとの関係を整理したことから、連合埼玉についても、同様に表記させて頂きました。

しかしながら、ただ表記するだけではなく、私たちの労働運動を通じて、SDGsの取組みに繋がることが意識できることが重要だと考えています。

すなわち、私たちはSDGsのために、労働運動をおこなっているわけではなく、私たちの労働運動の取組みにSDGsの考え方を取り込み、それぞれの運動が17のゴールのどの目標に繋がっているかを意識して取り組むことが重要だと考えております。

そして、SDGsの取組みには、構成組織や労働組合という組織で取り組むこともありますが、「一人一人が、できることから、取り組むこと」もあります。

例えば、「1.貧困」だったら、フードバンクへの余った食材の寄付、「6.水」だったら、水道の蛇口をこまめに止めることなど、日常の取組みがSDGsの取組みに繋がります。



「東武動物公園」の「ホワイトタイガー」

<ホワイトタイガー>

埼玉県宮代町にある「東武動物公園」には、今年の干支「寅(トラ)」の中でも、とても神秘的な「ホワイトタイガー」を飼育しています。インドでは古くから「神の化身」と信じられ、また中国では伝説上の4体の神獣(青龍、朱雀、白虎、玄武)の一つとして、古くから縁起のよい動物だとされています。その姿は「凛々しさ」と「愛らしさ」を合わせもっており、年始めからご利益があるように感じます。ぜひ、足を運んでいただきたいと思います。

さて、新しい「寅」年を迎え、「寅」の字はもともと象形文字の「矢を両手で引っ張る」象形から、「引っ張る、伸ばす」意味を持っているようです。その意味からも、「人が成長(伸びる)」する年とも言われています。

新型コロナウイルスの感染状況は、まだまだ予断を許さない状況ですが、このような環境の中でも、感染対策は「基本動作」と心得て、構成組織(産別)、加盟組合の皆さんが、新しい年に、新たなチャレンジをおこない、さらに成長する1年であってほしい。

2021.12.17